



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク
 コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 平島 英治

TEL 011-613-7750

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

2020年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	51,045	2.2	1,355	70.1	1,397	78.1	578	165.1
2020年3月期第2四半期	52,216	9.8	796	67.1	784	78.9	218	82.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 573百万円 (332.7%) 2020年3月期第2四半期 132百万円 (18.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.08	
2020年3月期第2四半期	7.19	7.17

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定方法については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	63,269	9,817	15.5	323.81
2020年3月期	66,464	9,418	14.2	310.39

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,817百万円 2020年3月期 9,430百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		5.00	10.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	2.1	2,500	54.8	2,500	60.2	750		24.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	30,642,600 株	2020年3月期	30,642,600 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	322,255 株	2020年3月期	261,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	30,343,965 株	2020年3月期2Q	30,381,485 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。一方、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しており、従業員株式給付信託(J-ESOP)の当社株式は自己株式とみなしておりません。なお、2020年3月をもって従業員株式給付信託(J-ESOP)の制度を終了しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が堅調に推移した一方で、調剤薬局部門において、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、処方箋応需枚数は減少いたしました。以上の結果、売上高は51,045百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面につきましては、調剤薬局部門において、処方箋応需枚数減少の影響を受けたものの、安定供給が確保され経済性に優れた後発医薬品への切り替えの推進や、業務効率化、生産性の向上及び経費圧縮に取り組んだ結果、営業利益1,355百万円（同70.1%増）、経常利益1,397百万円（同78.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益578百万円（同165.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、調剤薬局の運営及び医薬品の製造販売を行っております。

医薬品ネットワーク部門におきましては、一部大口顧客の脱退はあったものの、流通効率化へのニーズの高まりから、引き続き新規加盟件数は堅調に推移いたしました。2020年9月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ409件、一般加盟店5,227件の合計5,636件（前連結会計年度末比391件増）となりました。

調剤薬局部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、処方箋応需枚数が減少した一方、利益面につきましては、安定供給が確保され経済性に優れた後発医薬品への切り替えの推進や、業務効率化、適正人員配置や残業の削減等の生産性の向上及び経費圧縮に取り組んでまいりました。2020年9月30日現在の店舗数は、調剤薬局409店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア8店舗となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、良質で安価な後発医薬品の安定供給に取り組み、事業開始以来初めて半期黒字化を達成しました。2020年9月30日現在、32成分63品目を販売しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48,540百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益2,369百万円（同36.5%増）となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、サービス付き高齢者向け住宅の入居件数が概ね堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、建築業務において一部の受注案件で延期が発生したこと等により、売上高は1,438百万円（前年同期比21.4%減）、営業利益16百万円（同76.2%減）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2020年9月30日現在の入居状況につきましては、全5棟のうち3棟は安定的な入居率を維持しております。残り2棟につきましては、「ウイステリア千里中央」は全82戸中67戸（入居率81.7%）、「ウイステリア南1条」は全116戸中72戸（入居率62.1%）であり、期末の入居率目標90%に向けて新型コロナウイルス感染症対策を講じた営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により給食提供数が減少したことや、不採算施設の撤退等により、売上高は1,248百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失13百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、売上高は110百万円（前年同期比37.7%増）、営業損失13百万円（前年同期は営業損失39百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は63,269百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,195百万円減少しました。

流動資産は18,232百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,346百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は45,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ848百万円の減少となりました。主な要因は、のれんが減少したことによるものであります。

負債の部は53,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,594百万円の減少となりました。流動負債は21,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,362百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金が減少したことによるものであります。固定負債は31,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,231百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては、9,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2,775百万円減の8,905百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、803百万円の収入(前年同四半期は2,608百万円の収入)となりました。主な要因は、仕入債務の減少1,016百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益1,219百万円及び減価償却費859百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、862百万円の支出(前年同四半期は858百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出529百万円及び差入保証金の差入れによる支出315百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,716百万円の支出(前年同四半期は3,213百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2,343百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表した連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表の「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,722	8,936
売掛金	2,313	2,534
債権売却未収入金	735	692
調剤報酬等購入債権	428	390
有価証券	10	10
商品	4,439	4,780
原材料	13	13
仕掛品	0	2
貯蔵品	79	76
その他	847	808
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	20,578	18,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,885	13,449
土地	9,154	9,109
建設仮勘定	19	137
その他(純額)	2,067	1,905
有形固定資産合計	25,126	24,602
無形固定資産		
のれん	14,179	13,607
ソフトウェア	303	325
その他	131	127
無形固定資産合計	14,615	14,060
投資その他の資産		
投資有価証券	483	440
差入保証金	2,277	2,547
繰延税金資産	2,562	2,551
その他	846	856
貸倒引当金	△26	△20
投資その他の資産合計	6,143	6,374
固定資産合計	45,885	45,037
資産合計	66,464	63,269

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,021	9,004
短期借入金	3,916	3,916
1年内返済予定の長期借入金	4,634	4,472
未払法人税等	454	610
賞与引当金	1,401	1,495
役員賞与引当金	—	41
ポイント引当金	3	3
店舗等閉鎖損失引当金	9	—
その他	2,856	2,390
流動負債合計	23,296	21,933
固定負債		
長期借入金	27,601	25,420
役員退職慰労引当金	770	779
役員株式給付引当金	177	183
退職給付に係る負債	2,938	3,115
その他	2,261	2,019
固定負債合計	33,749	31,518
負債合計	57,045	53,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,183	1,182
利益剰余金	6,414	6,838
自己株式	△206	△225
株主資本合計	9,519	9,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△46
繰延ヘッジ損益	△3	△5
退職給付に係る調整累計額	△60	△54
その他の包括利益累計額合計	△100	△106
純資産合計	9,418	9,817
負債純資産合計	66,464	63,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	52,216	51,045
売上原価	32,397	30,542
売上総利益	19,819	20,502
販売費及び一般管理費	19,022	19,147
営業利益	796	1,355
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
業務受託料	50	36
設備賃貸料	50	50
補助金収入	—	55
雑収入	49	60
営業外収益合計	156	207
営業外費用		
債権売却損	26	25
支払利息	124	111
雑損失	17	28
営業外費用合計	168	165
経常利益	784	1,397
特別利益		
固定資産売却益	0	1
事業譲渡益	32	4
特別利益合計	33	6
特別損失		
固定資産売却損	1	19
固定資産除却損	3	7
減損損失	6	143
店舗閉鎖損失	16	12
その他	0	1
特別損失合計	27	183
税金等調整前四半期純利益	790	1,219
法人税、住民税及び事業税	584	627
法人税等調整額	△12	13
法人税等合計	571	640
四半期純利益	218	578
親会社株主に帰属する四半期純利益	218	578

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	218	578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△9
繰延ヘッジ損益	△0	△2
退職給付に係る調整額	3	5
その他の包括利益合計	△85	△5
四半期包括利益	132	573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	573

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	790	1,219
減価償却費	874	859
減損損失	6	143
のれん償却額	604	572
賞与引当金の増減額(△は減少)	83	93
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	31	41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△5
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△5	△0
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△9
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	17	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20	8
株式給付引当金の増減額(△は減少)	4	△69
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	154	186
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	125	111
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
固定資産売却損益(△は益)	0	17
固定資産除却損	3	7
事業譲渡損益(△は益)	△32	△4
売上債権の増減額(△は増加)	110	△221
債権売却未収入金の増減額(△は増加)	△25	42
調剤報酬等購入債権の増減額(△は増加)	54	37
たな卸資産の増減額(△は増加)	△350	△346
仕入債務の増減額(△は減少)	752	△1,016
未払消費税等の増減額(△は減少)	124	△308
その他	△15	116
小計	3,326	1,479
利息及び配当金の受取額	25	4
利息の支払額	△124	△109
法人税等の支払額	△618	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,608	803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△85	△1
定期預金の払戻による収入	142	12
有形固定資産の取得による支出	△756	△529
有形固定資産の売却による収入	0	56
無形固定資産の取得による支出	△25	△73
投資有価証券の売却による収入	102	—
関係会社の清算による収入	—	29
事業譲受による支出	△240	—
事業譲渡による収入	55	13
貸付けによる支出	△5	△8
貸付金の回収による収入	4	2
差入保証金の差入による支出	△58	△315
差入保証金の回収による収入	21	31
その他	△14	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858	△862

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,018	—
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△2,271	△2,343
リース債務の返済による支出	△249	△190
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△152	△152
自己新株予約権の取得による支出	△21	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,213	△2,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,464	△2,775
現金及び現金同等物の期首残高	11,520	11,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,056	8,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,290	1,412	1,434	79	52,216	—	52,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	417	—	—	417	△417	—
計	49,290	1,829	1,434	79	52,634	△417	52,216
セグメント利益 又は損失(△)	1,736	68	△34	△39	1,731	△934	796

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△934百万円には、セグメント間取引消去147百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,081百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,539	1,146	1,248	110	51,045	—	51,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	291	—	—	292	△292	—
計	48,540	1,438	1,248	110	51,337	△292	51,045
セグメント利益 又は損失(△)	2,369	16	△13	△13	2,359	△1,003	1,355

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,003百万円には、セグメント間取引消去145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,148百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。